

# おおくま

福島県大熊町  
議会だより

2022

令和4年  
8月1日発行

No.62

題 字：井戸川 寛美さん（下野上）



お馬さんかわいいネエ！（大熊町幼稚園・郡山石筵ふれあい牧場にて）  
いしむしろ

6月  
定例会

補正予算概要 ..... ②

町政を問う 2人が一般質問 ..... ④

おおくまーと 1周年特集 ..... ⑩

サークル紹介 おおがわら会 ..... ⑫



スマートフォン  
でも見られます

## 定例会のあらまし

令和4年第2回定例会は6月8日から10日までの3日間で開催されました。

第1日目に町長より条例の一部改正工事請負契約および契約変更、財産の処分、令和4年度一般会計補正予算および特別会計補正予算など11議案が提案されました。

第2日目は2人が一般質問を行い、「町ホームページの充実化を図るべき」「人間ドック等受診費用の助成制度を新設すべき」「社会教育施設の整備については、町民の意見を取り入れた基本構想を策定すべき」を取り上げ町政をたどりました。

最終日の本会議では初日に提案された11議案を審議し、全議案とも原案通り可決し閉会しました。

なお、今回の傍聴者は延べ22人でした。

# 保健センターの機能を回復するため施設を改修



町民の健康増進を目指して

町民のさらなる健康増進と福祉の向上を図るべく、年度内に保健センターの機能回復を目指し、施設の改修工事を実施します。事業内容は、基本・実施設計、工事管理の委託事業と施設本体改修工事となります。

**一般会計**  
**保健センター改修工事**  
**4億6397万円**

補正予算

西大和久地区の整備を検討しています。

それに係る今年度の事業は、用地取得等の補償調査・算定業務および地権者調整等業務などのコンサルタント委託料となります。

**一般会計**  
**西大和久地区整備事業**  
**3850万円**

**一般会計**  
**倉庫兼車庫整備事業**  
**1563万円**

大川原の役場庁舎に保管している文書の保管場所が手狭になってきております。今後の保管場所を確保するため庁舎に隣接する場所に整備します。

文書のほか土木資材やイベント等の備品も保管します。

消防ポンプ車の駐車場も併せて整備します。

今回は測量設計の予算が計上されました。

※万円未満四捨五入

# 防災対策をふまえた 倉庫にすべき



保管場所が手狭になっています

第2回定例会にて令和4年度補正予算の審議を行いました。  
その中から主な質疑内容を報告します。

## 倉庫兼車庫整備事業

**問** 保管の品質やカビ等の対策は。防災に関わるものを点在させるのか。防災対策をふまえた強度の建物か。

**答** 文書の湿気を考え空調は必要である。非常用の備品が増えることを想定し、効率よく使用できるよう検討していく。

## 保健センター改修

**問** 保健センター改修工事の内容はどのようなものか。

**答** 特定復興再生拠点区域の避難指示解除を見据えて、保健センターの機能回復を図るものである。財源は国と調整中であるが、電源交付金の充当を検討している。内訳は、基本・実施設計、工事管理、本体改修工事となる。

## 西大和久地区整備事業

**問** 西大和久地区整備事業の内容はどのようなものか。

**答** 西大和久地区は震災前から都市計画区域内の用途地域に指定されていた。今後の復興計画に反映させるためコンサルタント委託料、補償調査・算定業務、地権者調整等の予算を計上した。

## 工事請負契約

寺屋敷ため池放射性物質対策工事  
契約金額 5390万円

妙見ため池 放射性物質対策工事  
契約金額 3億5750万円

新溜ため池 放射性物質対策工事  
契約金額 2億8600万円

### 工事内容

ため池の底に溜まっている放射性物質を重機により直接掘削し除去する工事です。

除去土壌は中間貯蔵施設へ搬入します。

台風や豪雨により、住民の生活圏に影響がでる恐れがあるところから優先的に工事をしていきます。今後町内のため池を順次工事していきます。

### お詫ひ

おおくま議会だより第61号の6ページ町民税の減免条例の表中、平成31年・令和元年の合計所得金額と表記しましたが、正しくは令和3年中の合計所得金額の誤りでした。訂正しお詫ひ申し上げます。

木幡ますみ 議員



## 問 町ホームページの充実化を図るべき

## 答 見やすく親しみやすいホームページ作りを心がける

# 町政を問う 復興への課題をとらえて

**木幡** コロナ禍により町政懇談会が開催されず、町民には町の状況がわからない状態である。しかし今タブレット

はないが、大熊町にはホームページという伝達できる手段がある。

ホームページは簡単に言つと一軒の家である。そしてホームページに使用されているコンテンツは家具である。

家主は使い勝手の良いように家具を配置していく。ホームページも同じである。大熊町の家主である町民が使い勝手の良いようにコンテンツを配置し、見やすいようにむだな漢字を減らしスッキリさせ見出しを短くしたりイラストを使って使用

者であるユーザーに興味を持たせ、中身の情報をいち早く更新して町民にお知らせしていく。

ホームページのメニューを見ながら町民からの質問を受けたり、意見を募る掲示板を設けたり、お悔やみ欄を作るなどホームページの充実化、町民の欲しい情報を常にリサーチして更新を早めて発信をしていく。

ホームページはパソコンばかりではなくスマートフォンでも見れるが、使い慣れていない町民にとっては大変である。こういう時には会津若松出張所、中通り連絡事務所、いわき出張所、大熊町本庁

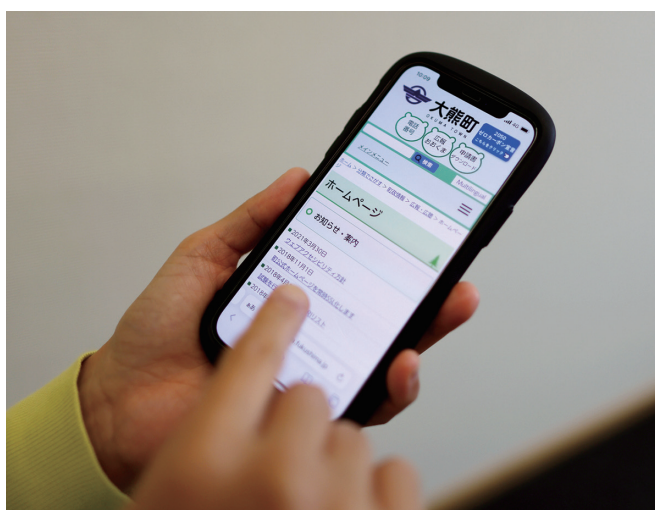
舎などでホームページの見方をお知らせしていくなど、町民と一体となった復興を目指すためにホームページの充実化を図っていくべきではないか。町長の所見を伺う。

現在町民からの質問については、ホームページに掲載した記事から各課にメールにて問い合わせいただき、各課にて質問をいただいた方へ返信する仕組みになっている。また同様にご意見・ご要望についてもホームページから受け付けをしている。

**町長** 現在町民からの質問については、ホームページに掲載した記事から各課にメールにて問い合わせいただき、各課にて質問をいただいた方へ返信する仕組みになっている。また同様にご意見・ご要望についてもホームページから受け付けをしている。

掲示板上についてはコミュニケーションを図るための一つの手段であるが、一方で特定個人に対する誹謗中傷やトラブルに発展する可能性もあり、運用面での管理が難しい事実がある。お悔やみ欄については、避難先での死亡届けを提出してから役場に情報が届くまで10日間近くなり遺族の方の同意が必要になり、情報が遅くなってしまうホームページへの導

入は難しいと考える。今後もホームページのあり方を検討していくとともに、見やすく親しみやすいホームページ作りを心がける。



見やすく親しみやすく

西山 英壽 議員



## 問 人間ドック等受診費用の助成制度を新設すべき

### 答 実施に向け詳細を検討していく

**西山** 避難生活が11年以上経過し、また新型コロナウイルス感染症拡大による影響により、町民の健康維持が大変難しい状況にある。健康管理は自ら努力することが必要であるが、自治体としても健康維持を図るための手を差し伸べるべきである。

そこで人間ドック、脳ドック、PETガン検査等を受診した場合の受診費用の一部を助成する制度の新設を提案する。費用を一部助成することで、町民の健康意識が向上し、生活習慣病、その他疾病等の予防および早期発見、早期治療が図られ、さらには総合健診等の受診率



総合健診の受診率向上を目指して

が増加することも期待されると思いますが、町長の考えを伺う。

**町長** 人間ドック等にかかる費用の一部助成については、町民の健康増進、疾病予防および疾病の早期発見、早期治療の推進を図るのに非常に有効である。受診結果を提出してもらつことにより特定健診の受診率向上が期待できる。これまで人

**西山** 町は既存の図書館を解体し駅西口に図書館、ミュージアム、公民館の機能を基軸とした複合型社会教育施設整備の計画をしている。また、大川原で開校する学び舎ゆめの森の図書ひろばを地域住民に開放するとしている。そこで、読書活動推進町民会議を再開するのであれば、複合施

#### 社会教育施設

### 問 町民の意見を取り入れた基本構想を策定すべき

### 答 検討委員会を組織し検討していく

間ドック等受診費用の一部助成について内部で検討はしたが、実施には至つてなかつたことから、今後町としては実施に向けて内容、実施時期、対象者、助成金額等の詳細を検討していく。

#### 再質問

**西山** 検討するとのことだが、具体的にいつまで検討し、結論を出すのか。

また助成制度の新設はいつになるのか。

**町長** いつからも含め、どこまでの助成ができるか金額等も含めて検討している。それに対する時間はそれほど要しないと考えている。

設に整備する図書館の規模、図書資料数、図書割合などを諮問し、町民の意見を取り入れた基本構想を策定すべきと思うが、町長の考えを伺う。

**町長** これから進めていく社会教育施設の基本構想に関しては、有識者等で構成する検討委員会を組織し検討

していきたいと考えている。

図書館の規模、図書資料数、図書割合などの具体的な機能についても、町民のワークショップ等を開催し、多くの方々の意見をいただきながら検討していきたい。

# 復興拠点外から流入した放射性物質の追加除染を

6月10日に全員協議会にて町と原子力災害現地対策本部より特定復興再生拠点区域の避難指示解除について説明がありました。  
 説明要旨と主な質疑について報告します。

## 国、町からの説明

避難指示解除に向け令和2年度から計8回除染検証委員会を開催し、最終報告を受けました。

町は議会全員協議会行政区長会を経て6月4日と5日に住民説明会を開催しました。

参加者からの主な質疑について報告します。

放射線の影響はどうか。子育て中の母親として線量のある場所へ子供を行かせるのはとても不安との声に国は今後も継続的にフォローアップを行うと答えました。  
 廃炉について東電からの直接の情報提供が乏しい。生活インフラ

について水や電気を通

したから帰れるとは思わない。国は今回の解除に際して線量を下げることが重要であるとともに、道路や水道などのインフラを整備して最低限の帰還できる環境としましたなどと答えました。

避難指示解除後も避難先に住みながら大熊町に住所を持ちたいという要望に、国は帰還されるタイミングは個々の事情に合わせて検討いただき、支援がすぐになくなるということはないと説明しました。

今後の対応として、除染検証委員会や住民からの意見をふまえ、さらなる線量低減と福

島第一原発の廃炉に対し、住民の不安を払拭するため国と東電は正確な情報を分かりやすく速やかに周知してまいります。

除染検証委員会で示した継続的な対策の実施や住民説明会の結果などを考慮して6月末から7月上旬の避難指示解除を目指したい。解除日については町執行部に一任していただきたい。

## 主な質疑の内容

**問** 復興拠点の外から流れ込んだ放射性物質で線量の高い側溝や用水路などの追加除染はすべきではないか。

**答** 事後モニタリングに加え必要があれば追加除染は当然責任を持つて行っていく。

**問** 解除した場所の線量を低くしても周りの山林が高くては安心して生活できない。しっかりと対応してもらいたい。

**答** 除染後の効果が維持できているかどうか今年度も全域でモニタリングを実施する予定である。  
 線量が下がるような除染をしっかりとやっていきたい。

## 議会の対応

大熊町議会は避難指示解除日について国、県、町で協議し決定することに同意しました。



安心して生活できる環境に

新教育施設

# 建設工事遅延による 教育環境の対応は

4月26日と5月26日、全員協議会にて各課より説明がありました。  
説明要旨と主な質疑について報告します。

## 説明要旨

来年4月大川原地区に開校予定の「学び舎ゆめの森」の建設工事遅延について。

コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない中で建築に必要な部材、特に鉄鋼材の調達や設備関係の納入が困難になっています。鉄骨の納期は日本全体の課題でもあるとのこと。部材不足への対応は困難との判断に至りました。

工程をできるだけ短縮する努力は行いますが、令和5年6月の引き渡しを予定し、これより早めるのは難しいと判断しました。子どもたちの学びの機会、保護者のスケジュール

ルールに影響を及ぼさないように対策を考えていきます。

## 主な質疑の内容

**問** 工期が3カ月延びる間の教育環境は大丈夫なのか。

**答** 仮設校舎の設置や完成するまで会津に残る、大川原の公共施設を使うなど、もろもろの案を代替案として考えている。保護者の方々の意見を踏まえながら進めていきたい。

## 大野駅西口整備

西口に最初に整備するのが産業交流施設で本体と外構を整備します。発注は設計、施工一括になります。9月

末までに設計を終え、令和6年11月の完成を目指します。施設は貸事務所と貸会議室などになります。

併せてソフト面関係で産業交流施設、駐車場、商業施設指定管理予定者を公募し助言をいただきながら整備を進めていきます。

大野駅の西地区については、産業交流施設ばかりでなく、全体のデザインを考えていかなければならないため今後検討する部会を立ち上げる予定です。

## 主な質疑の内容

**問**ゼロカーボンを宣言した町として各施設のほか駐車場などにも太陽光発電を活用したかどうか。

**答** 財源とも照らし合わせ検討していく。

5月26日、郡内の行政視察を行いました。  
視察の状況を報告します。

## 視察報告

今回の視察先は近隣で関心を高めているとみおかアーカイブミュージアム（富岡町）、東日本大震災・原子力

災害伝承館（双葉町）、震災遺構浪江町立請戸小学校などを視察しました。複合災害がもたらした地域の変化や原子力

災害を中心とした展示物、全員が無事避難することができた請戸小の奇跡を肌で感じ、震災を教訓とした防災・

減災についての重要さを研修してきました。今後、特定復興再生拠点区域に整備が予定される産業交流施設や社会教育施設設置に対して議会から提言してまいります。



震災を教訓に

図書館の跡地利用

# 帰町者や町内で働く人のため 住宅用地として活用

5月11日委員会を開催し、図書館の現況調査を行い、解体までの経緯や跡地利用の計画について教育総務課より説明を受けました。主な内容をお知らせします。

これまでの経緯

● 令和3年5月より既存図書館・民俗伝承館の利活用について教育総務課内で検討を開始した。  
それをふまえ町執行部内で検討した結果施設の活用が見出せなかった。  
● 令和3年11月16日全員協議会にて、図書館・民俗伝承館については、町の復興計画に伴い解体する方向で進めているとの説明を受け、議会として了承した。  
● 令和4年2月16日に定例教育委員会にて社会教育施設検討開始について説明した。



図書館の現況調査

● 令和4年3月10日に総合教育会議において、大熊町図書館・民俗伝承館の解体経緯と社会教育施設の整備検討について説明をした。  
その後、委員会では現地にて圖書の除籍、譲渡の準備状況を確認しました。

# 堆砂量の管理は 現状の増減を確認すべき

4月14日委員会を開催し、坂下ダムの現地調査および所管事務調査を行いました。主な内容をお知らせします。

現地調査

坂下ダムの堆砂状況  
を現地にて産業課より説明を受けました。  
坂下ダムの堆砂量は平成2年より計測を行っており、堆砂量の確認方法や堆砂の増減要因を確認した。  
昨年度に富岡町の災害復旧事業で坂下ダムの堆砂が使用されたため堆砂量が減少している事も確認した。

また、事務調査では竣工から100年後の堆砂累積予測について説明を受け、予測より累積堆砂量が多い事を確認した。  
委員からは、堆砂量の予測については現状とかけ離れていることから、適時増減を確認しながら管理すべきとの意見がありました。



今後も堆砂量に注視が必要



# 国際研究教育機構の 誘致実現に向けて

## 要望書要旨

国は本年3月、世界レベルでの教育研究や産業集積、原子力災害からの復興・再生を大きく後押しする施設として福島県国際研究教育機構の基本構想



誘致実現に向け全力で

6月9日議会より「福島県国際研究教育機構の誘致に関する緊急要望書」を町長へ手交しました。  
要望書の要旨をお知らせします。

## 議会表彰

### 福島県町村議会議長会より 大熊町議会が表彰されました

受賞理由は、行政と議会の両輪で復興に取り組み、復興計画や被災者支援策などの議論を重ねてきたこと、さらには国や各種団体に対する要望活動も活発に行うなど課題解決に尽力した。また議員自らが編集する議会だよりを年4回発行し、ホームページに掲載するなど、広範囲で避難生活を送る町民に対しての情報共有にも努めている。

を取りまとめ、県から誘致希望に関する照会が町にも行われております。大熊町は福島第一原発の1号機から4号機が立地するほか、中間貯蔵施設を受け入れた経緯から最後まで復興に取り組んでいかなければならない自治体であります。

そのため、当機構が誘致されますことは当町および周辺地域の活性化にとどまらず、福島県全体の復興に不可欠であり、地域住民に夢や希望を与え、原子力災害被災地域の復興・再生に大きく寄与するものと確信しております。

大熊町議会は当機構の大熊町内への誘致を実現するため、主体的に行動することを確認するとともに、吉田町長に誘致の実現に向けて全力で取り組むよう強く要望いたします。

## 広報クリニック



アドバイスを受けた研修会

〈研修内容〉  
研修は「広報紙の広報力を高めるために」と題して議会広報紙の編集にあたり住民の視線を紙面に導き、情報を分かりやすく伝える紙面の編集方法を学びました。

〈広報クリニック〉  
おおくま議会だより第53号を用いて表紙からサークル紹介まで、各紙面で今後も継続すべき点など分かりやすく・読みやすくするためのアドバイスを受けました。

6月30日に県文化センターにおいて町議会議会広報研修会および広報クリニックに参加してきました。



### 魚定食おしだ

- ①午前11時～午後2時まで
- ②金、土、日曜日及び祝日
- ③海鮮丼、煮魚と刺身定食、魚フライと刺身定食
- ④050-3695-8713
- ⑤魚はいわき市中央卸売市場と久之浜地方卸売市場で新鮮な魚貝類を仕入れております。浜通りならではの美味しい魚料理をぜひ食べに来てください。



### さつき美容室

- ①午前11時～午後5時まで
- ②月～金曜日
- ③お客様の要望にあわせたヘアスタイルに仕上げます。
- ④090-1066-3190
- ⑤土、日曜日限定で予約制になっておりますがお気軽におこしいたごき、町の話など色々なお話をしましょう、お待ちしております。



### ニューヤマザキデイリーストア

- ①平 日 午前7時～午後8時まで  
日・祝日 午前7時～午後6時まで
- ②年中無休
- ③手作りパン、手作り弁当等いつでも温かい作りたてを提供できるよう心掛けています。
- ④0240-23-6567
- ⑤町の復興のため地域に根ざしたお店作りを心掛けています。従業員一同、笑顔とフレンドリーな対応をモットーに頑張っています、ぜひ一度お立ち寄り下さい。



### 株式会社 鈴木商店

- ①午前10時～午後6時まで
- ②土・日曜日
- ③オリジナルコーヒー、数カ月ごとに豆が変わる限定コーヒー（数量限定）。夏場のお店はカゴ推しです!! 商品が入れかわります。一期一会をお楽しみください。
- ④0240-23-7670
- ⑤楽しい、可愛い、役立つ! をモットーに各種雑貨を販売しています。毎日がちょっぴり楽しくなる『イイモノ』を見つけに、ぜひ、鈴木商店に遊びに来てください!



### たきもとでんき

- ①午前10時～午後5時まで
- ②毎週土、日曜日及び祝日
- ③テレビ、冷蔵庫、エアコン等一般家電の販売、修理、設置工事
- ④0240-32-3227  
090-3360-2291
- ⑤まごころとアフターサービスの店舗を目指しています。店内ではお茶とコーヒーで一息ついていただき、まちの話題と町民の近況話に花を咲かせています。どうぞお気軽にお立ち寄りください、お待ちしております。

# 「おおくまーと」オープン1周年 出店者の皆さまを紹介します

令和元年5月に役場本庁舎が開所し、その後整備が進められていた「おおくまーと」も今年4月にはオープン1周年を迎えました。そこで今回は出店者の皆さまを紹介いたします。

## インタビュー内容

- ①営業時間 ②定休日 ③おすすめ
- ④連絡先 ⑤お店から一言



### 和食 さかい

- ①昼の部 午前11時～午後2時まで  
夜の部 午後5時～午後9時まで
- ②日曜日
- ③唐揚げ定食、ソースカツ丼
- ④080-5843-8887
- ⑤昼の部は定食やめん類、丼物。  
夜の部は美味しい肴と各地の地酒や焼酎をご用意してお待ちしております。



### 軽食・喫茶 レインボー

- ①午前11時～午後6時まで
- ②第1、第3土、日曜日（大型連休、盆、正月は変更あり）
- ③おおくまベリーみるく、特製ランチ、ランチタイムはコーヒーをサービス
- ④080-2835-2819
- ⑤月1回ペースでバンド仲間と演奏イベントを開催し商業施設を利用していただく取り組みをしています。  
ご来店いただいたお客様とまちの話や近況を語りあっています。



### はるカフェ

- ①午前7時30分～8時30分まで（ほっと大熊宿泊者様用）  
午前8時30分～午後4時まで（通常営業）
- ②日、月曜日
- ③ホットサンド、厚切ピザトースト、おまかせランチ  
手作りシフォンケーキ、ドリンク類
- ④0240-23-5710
- ⑤健康を考えた自家製無添加白神こだま酵母を使用した手作りパンを作っています、自然な甘みと味わいをお楽しみ下さい。  
ホットな交流の場を提供するパンカフェです。ご来店をお待ちしております。



### コインランドリー大川原店

- ①24時間 ②年中無休
- ③大型洗濯機1台、洗濯乾燥機3台、乾燥機7台  
シューズ専用洗濯乾燥機
- ④090-6456-6008
- ⑤一人暮らしの方、雨天が続く日等に自分の好きな時間に洗濯ができます。ぜひご利用ください。

# 助け合いの体制づくりを目的として活動 おおがわら会

「おおがわら会」は大川原住民有志の交流会をきっかけに設立しました。大川原に集まるみなさんの交流促進や情報共有、助け合いの体制づくりなどを目的に活動しています。

おおがわら会は大熊町出身の方はもちろん、大熊町在住の方、在勤者の方も入会いただけます。これまでにクリスマス会や落語会など様々なイベントを行ってきました。

特にネクサスファームおおくま視察会は大変楽しくみなさんに町内にある新しい産業「いちご栽培」に親しんでもらうことができました。今後も様々なイベントを企画していきます。

町では特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されました。解除された地域に帰町されたみなさんとも交流を深めていきたいです。大川原でお待ちしています！

会長 市村 英雄



楽しい時間をすごしています

## 傍聴に来てください 9月定例会は7日からの予定です

### 編集後記

おおくまーとが開業一周年を迎え、特集を組みました。この企画を通して思い起こしたことがあります。

東京銀座の一角にレトロなたたずまいの食堂があった。昼どき長蛇の列ができ、婦人が外で待つ客の注文取りとレジをやり手際よく切盛りしていた。タンメンで単身赴任の野菜不足を補うため時折り通っていた。

震災の翌年だった。上京した土曜の昼下がり、その味が懐かしく家内とほぼ4年ぶりに立ち寄った。会計を終えたときだった。顔を上げたその婦人が、「お久しぶりでしたねえ。」

おおくまーとでは用事で来られた家族の思わぬ再会の光景をよく目にします。今日はどんな出会いがあるんだろうか。

さて、昼はどこにするか。キー打つ手を休め、迷う。

渡辺 誠

### 広報公聴常任委員会

委員長	佐藤 照彦
副委員長	渡辺 誠
委員	石井 和弘
委員	島原 健二
委員	西山 英壽
委員	阿部 光國
委員	廣嶋 公治
発行責任者	吉岡 健太郎